

# 学校だより



9月 特別号  
「学校評価」結果  
のお知らせ

2015. 9. 17(木)  
津幡町立刈安小学校

# かりやす

刈安小学校教育理念 「夢」(希望) 「愛」(教育愛) 「信」(信頼)

日頃より、本校の教育活動にご理解・ご協力をいただきありがとうございます。  
本年度も、本校では「学校評価」の取組を行ってきました。7月に第1回目の「自己評価」を行い、その結果を取りまとめましたので、保護者の皆様方にもお知らせいたします。

保護者の皆様にご協力いただきました「保護者アンケート」の結果につきましては、9月4日のPTA委員会で報告させていただきました。結果の一部は、この「学校評価」に活用させていただいております。この「学校評価」は、次の2点をねらいとしています。

- ① 私たち教職員が、本校の教育活動に関して年度の初めに目標を立て、その目標達成に向けての教育活動を行い、またそれを評価し改善への方策を実行することを通して、よりよい学校づくりに向けての取組を進める。
- ② 評価結果を保護者・地域の皆様にお知らせし、ご家庭や地域の皆様方のご理解・ご協力を得て、学校・家庭・地域が一体となったよりよい学校づくりをめざす。

また、この「学校評価」の取組は、児童の評価を行うものではなく、あくまでも私たち教職員の教育活動のありかたについての評価を行うものです。よろしくご理解のほどお願いいたします。

7月に行った第1回目の「自己評価」で評価結果が目標値を達成していなかった項目（評価結果がAでなかったもの）については、職員全員で改善に向けての方策を協議し、具体的な取組を考え、9月から実践しているところです。

下にお示した表は、第1回目の「自己評価」結果とそれを受けての改善の取組の概要です。詳細は以下の評価結果と改善策一覧をご覧ください。

なお、学校のホームページにも、この「学校評価」の結果について載せてありますので、ご覧になってください。

## 平成27年度学校評価 第1回自己評価(7月実施)

### 評価結果をうけての改善策 ⇒ 9月以降の改善策・具体的取り組み

具体的取組 ★は今年度の重点事項	通し番号	評価規準、評価の観点	時期・評価材料	結果	9月から共通実践すること
① 基礎的・基本的な知識・技能の定着	1	校内『漢字力テスト』、『計算力テスト』（『刈安チャレンジ』）で、90点以上を達成できている。 【成果指標】	1. 2学期末『漢字力テスト』『計算力テスト』の成績	79% C	1学期末に実施した「校内漢字・計算テスト」で90点以上をとれるようにするという取組です。1学期中には達成することができなかったお子さんがいましたが、サマースクール中に全員達成することができました。2学期からは学期内で達成できるよう、学期の途中にも評価テストを実施し、定着の状況を確認したり、家庭学習の取組方を見直したりし、家庭とも連携しながら確実な定着を図っていきたいと考えております。

②	★つけたい力を確実につける授業の推進	2	時間の確保ができ、さわやかタイム・パワーアップタイムの取組が確実に行われている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	
		3	課題提示から、まとめまで一貫性・整合性ある授業をしている。(板書計画の充実) 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート 児童の学習履歴 やノート等	100% A	
		4	「学習のまとめ・ふりかえり」では、学んだことや次の学習への見通しがきちんと表現できている。(ノート指導の充実) 【成果指標】	1, 2学期末 教員アンケート 児童の学習履歴やノート等	50% C	授業が深い思考を伴う充実したものになるように教員自身の授業力を高めるよう努力します。また、ノートの書き方を全校でそろえ、授業のまとめやふりかえりを自分の言葉で書けるようにします。
		5	授業を通して身につけたことを次の学習に生かしたり、実際の生活で役立てたりすることができたと意識している。(活用力の向上) 【満足度指標】	1, 2学期末 児童アンケート	100% A	
		③	家庭学習の習慣化	6	家庭学習の目安の時間が守られている。 (1年:20分, 2年:30分, 3年:40分, 4年:50分, 5年:60分, 6年:70分) 【成果指標】	1, 2学期末 保護者アンケート
7	家庭学習の内容、方法を指導し、児童が何をどのようにすればよいのかを明確にしている。 【努力指標】			1, 2学期末 教員アンケート	83% A	
④	学習規律の定着			8	教師は、『刈安っ子の学習』をもとに、全校一致して指導にあたっている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート
		9	児童は、『刈安っ子の学習』等の学習のきまりを守っている。 【満足度指標】	1, 2学期末 児童アンケート	100% A	
⑤	情報機器を活用した授業の推進	10	大型テレビやタブレットを使った授業を月に1回は行っている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート	75% C	効果的な活用法について、教員自身研修を深めていきます。
⑥	★教員の授業力を高める校内研究の推進	11	校内研究の重点を日々の授業で実践し、授業改善を図っている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	
		12	授業評価表の活用や相互授業参観、校内研修サポート事業の活用等により、授業力の向上が図られる研修体制となっている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	

①	心が通い合う生徒指導の充実	13	児童理解の会での共通理解と共通指導の徹底、人間関係づくりに関する校内研修会の開催等により、児童のよりよい人間関係の構築に努めている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	
②	読書活動の推進	14	『読書の旅』等の啓発活動において、目標値を達成できている。 【成果指標】	1, 2学期末 読書記録等	95% A	
③	道徳教育の充実	15	学校訪問や学校公開時に積極的に保護者や地域の方々に道徳の授業公開を行っている。 【成果指標】	1, 2学期末 授業公開を行った回数	100% A	
		16	道徳の授業では、学校行事や特別活動、実生活等との関連付けをしながら、道徳的な実践力が高まるように努めている。 【努力指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	
④	特別支援教育の推進	17	一人一人のニーズに応じた指導を計画的に実践している。(個別の支援計画の作成、情報の共有、校内研修の推進)	1, 2学期末 教員アンケート	88% A	
⑤	幼稚園・保育園との相互理解の推進	18	授業(保育)参観等の保・小連携の取組を年間に全校で5回以上行い、積極的な交流ができている。 【成果指標】	1, 2学期末 連携・交流の機会の回数	100% A	
⑥	中学校へのスムーズな接続に向けての取組の充実	19	授業参観等の小・中連携の取組を年間に全校で5回以上行い、積極的な交流ができている。 【成果指標】	1, 2学期末 連携・交流の機会の回数	100% A	
①	基本的な生活習慣の確立	20	「早寝・早起き・朝ご飯・あいさつ」が身につく生活習慣の確立が図られている。 【成果指標】	1, 2学期末 保護者アンケート	84% A	A評価ではありますが、保護者の皆様の評価が84%ということですので、学校でも玄関・職員室の挨拶だけでなく、廊下や地域でも自分からしっかり挨拶できるように指導していきます。
②	体力向上の取組の推進	21	休み時間や放課後等に、積極的に体を動かし運動をしている。 【成果指標】	1, 2学期末 児童アンケート	100% A	
③	健康・安全教育の推進	22	避難訓練や防災訓練等を通して、非常変災発生時の緊急行動、避難行動の仕方等を理解し身に付けることができている。 【成果指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	
①	地域のよさの積極的な情報発信	23	HP、学校や学級のたよりの発行を通して、地域のよさを児童に感じ取らせることができている。 【努力指標】	1, 2学期末 保護者アンケート	100% A	

②	地域素材や人材の積極的活用	24	地域の素材を元に、学習活動を行ったり、地域の人材を活用したりして、地域の教育力を積極的に活用している。 【成果指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	刈安小の子ども達は休み時間には学年を問わず鬼ごっこやサッカーなどをして遊んでいます。しかし、保護者の皆様にとっては、いろいろな遊具で遊ばせてあげたいという思いを強くもっていらっしゃることを知りました。町の方に要望していききたいと思います。
③	地域の文化や伝統、人を大切にしようとする心情の醸成	25	『源氏太鼓』、『俱利伽羅峠の歌』等の発表、米作り体験等の体験を通して、他とのかかわりを意識し、地域のよさを感じ取り、規範意識や郷土愛を深めている。 【満足度指標】	1, 2学期末 教員アンケート	100% A	
①	児童が安全安心に過ごせる教育環境の整備と管理	26	学校の教育環境（教室・廊下・校庭など）が安全に整えられている。 【満足度指標】	1, 2学期末 保護者アンケート	100% A  79% B	

◎家庭学習のコメントのご協力、本当にありがとうございます。温かく適切なお言葉のおかげで、宿題の仕方が、ていねいになったり（字の書き方も取組方も）、忘れなくなったり、まちがえたままで出すことがなくなったり…という子ども自身の中の変容が見られてきました。また、自学の内容がより高度になったというお子さんもおいでます。保護者の皆様のご支援を無にしないよう、学校の方も宿題の出し方や日頃のわかりやすい授業の工夫などを一層努力していききたいと思います。

○評価結果がAであっても100%に満たない項目についても、改善に努めてまいります。

★9月15日に「学校関係者評価委員会（評議員会）」を開催しました。会では、評議員の方々に、本年度の学校評価の取組の概要と第1回の自己評価の結果等について、説明させていただき、委員の方々から多くの貴重なご意見をいただきました。今後の学校としての取組の改善に活かしていきます。主なご意見をお知らせします。

<小規模校の特性を出していくために>

- ・小規模校だからこそ個に応じた教育を取り入れていくとよいのではないか。よいところはさらに伸ばして行ってほしい。
- ・いじめや不登校の問題がない現状をこのまま続けてほしい。

<授業の充実に向けて>

- ・授業の「まとめ」「ふりかえり」の書き方を児童に指導してほしい。どんな書き方をすればよいのかわかれば、書けるようになる。
- ・友達同士で教え合っているのはすばらしい。人に教えるためには、自分が3倍勉強していないとできないと言われる。人に教えてみて初めて、自分が理解していないことにも気づくことができる。
- ・これからの学校教育では、電子機器は必須のものである。教員は、その扱い方の習熟を図らなければならない。

<挨拶について>

- ・学校での挨拶運動は続けられていると思うが、地域で挨拶をしない子がいる。大人の方から挨拶しても返さない子もいる。家庭での習慣も必要だと思うが、学校でも指導してほしい。

<その他>

- ・先生と子どもの関係が馴れ合いにならないように気をつけた方がよい。子どもとの距離感を保つようにする。けじめや言葉遣いは外に現れるものである。

○ご不明な点、ご質問、ご意見などありましたら、学校までご連絡ください。  
今後ともよろしくお願いたします。